

第6次留寿都村総合計画等の策定に伴う
アンケート調査結果報告書

令和2年1月

留寿都村

目 次

I. アンケート調査の概要

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 回収結果	2
2. 本報告書の留意事項	2
(1) 本報告書の数字の取り扱いについて	2

II. 在住外国人アンケート調査の結果

1. 回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 居住歴	5
(4) 国籍	6
(5) 日本語の習熟度	6
2. 調査の結果	7
1. 住みよさ・愛着度・定住意向などについて	7
(1) 村の住みよさ	7
(2) 村への愛着度	8
(3) 今後の定住意向	9
(4) 村の魅力	10
(5) 村の不足しているところ	11
(6) 移住することになった主な理由や動機	12

I. アンケート調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、第6次留寿都村総合計画（2021年度～2030年度）の策定にあたって、村への愛着度や村の魅力、村の不足しているところをはじめ、一般住民、青少年、小・中・高校生、在住外国人及び村職員の意識やニーズの動向を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

	在住外国人 アンケート調査
調査対象	村内の18歳以上の在住外国人
配布数	45
抽出法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	平成31年4月

(3) 回収結果

	在住外国人 アンケート調査
有効回収数	16
有効回収率	35.6%

2. 本報告書の留意事項

(1) 本報告書の数字の取り扱いについて

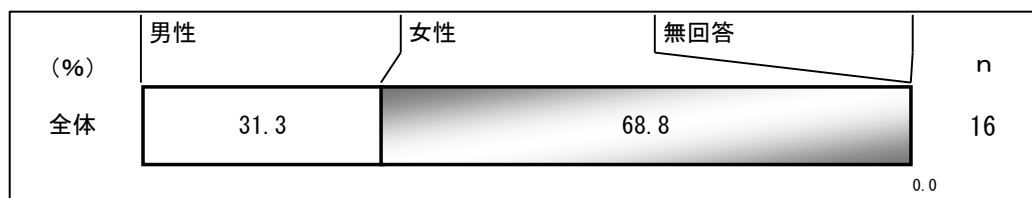
- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 設問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④ 一般住民アンケート調査結果の問2以降の年齢別の分析について、10代の回答者数が少ない(5人)ため、20代とあわせて「10・20代」として分析しています。

Ⅱ. 在住外国人アンケート調査の結果

1. 回答者の属性

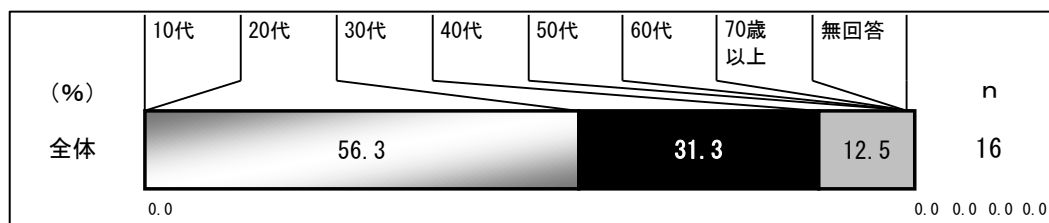
(1) 性別

回答者の性別構成は、「女性」が68.8%、「男性」が31.3%となっています。



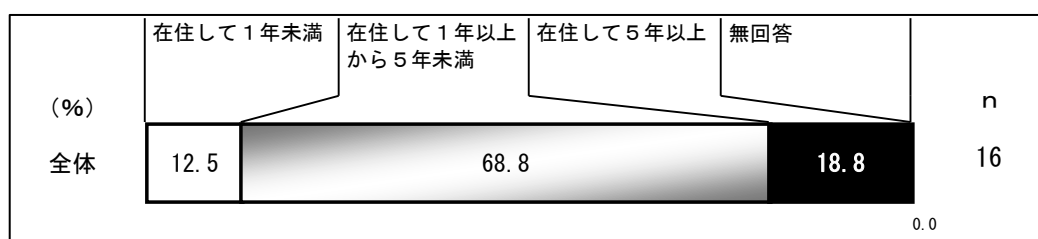
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「20代」(56.3%)、「30代」(31.3%)、「40代」(12.5%)となっています。



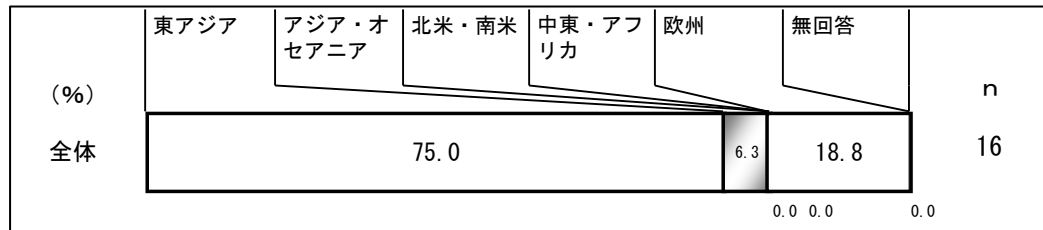
(3) 居住歴

回答者の居住歴は、「在住して1年以上から5年未満」(68.8%)、「在住して5年以上」(18.8%)、「在住して1年未満」(12.5%)の順となっています。



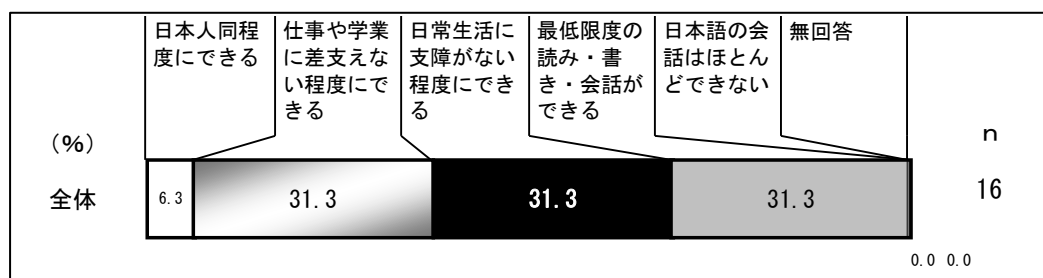
(4) 国籍

回答者の国籍は、「東アジア」(75.0%)、「欧州」(18.8%)、「アジア・オセアニア」(6.3%) となっています。



(5) 日本語の習熟度

回答者の日本語の習熟度は、「仕事や学業に差支えない程度にできる」・「日常生活に支障がない程度にできる」・「最低限度の読み・書き・会話ができる」(同率 31.3%)、「日本人同程度にできる」(6.3%) となっています。



2. 調査の結果

1. 住みよさ・愛着度・定住意向などについて

(1) 村の住みよさ

問2 あなたは、留寿都村の住みよさについて、どのようにお考えですか。

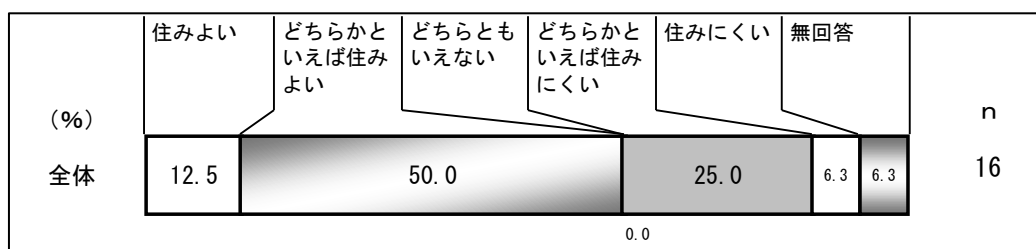
- “住みよい” が 62.5%、“住みにくい” が 31.3%。

在住外国人が村の住みよさをどのように感じているかを把握するため、「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかといえば住みよい」と答えた人が 50.0%で最も多く、これと「住みよい」(12.5%)をあわせた“住みよい”という人が 62.5%となっています。

これに対し、“住みにくい”という人(「どちらかといえば住みにくい」(25.0%)と「住みにくい」(6.3%)の合計)は 31.3%と3割強となっています。

図表Ⅷ-1 村の住みよさ（全体）



(2) 村への愛着度

問3 あなたは、留寿都村に対して愛着をどの程度感じていますか。

- “愛着を感じている”が87.6%、“愛着を感じていない”は0%。

在住外国人の村に対する愛着度を把握するため、「とても愛着を感じている」、「どちらかという愛着を感じている」、「どちらともいえない」、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかという愛着を感じている」と答えた人が56.3%で最も多く、次いで「とても愛着を感じている」(31.3%)が続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が87.6%と9割弱となっています。これに対し、「あまり愛着を感じていない」と「愛着を感じていない」はともに0%となっており、大半の人が村に愛着を感じていることがうかがえます。なお、「どちらともいえない」は12.5%となっています。

図表Ⅷ-2 村への愛着度（全体）

	とても愛着を感じている	どちらかという愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	無回答	n
(%)							
全体	31.3	56.3	12.5	0.0	0.0	0.0	16

(3) 今後の定住意向

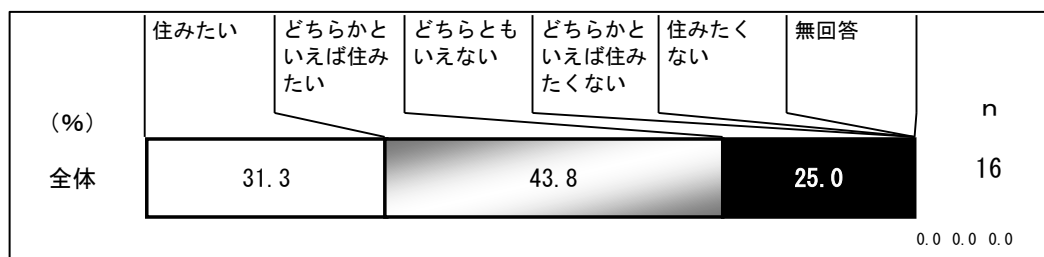
問4 あなたは、これからも留寿都村に住みたいと思いますか。

● “住みたい” が 75.1%、“住みたくない” は 0%。

在住外国人の今後の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかといえば住みたい」と答えた人が 43.8%で最も多く、次いで「住みたい」が 31.3%で続き、これらをあわせた“住みたい”という人が 75.1%と7割台半ばにのぼっています。これに対し、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」ともに0%となっており、大半の人が村に住み続けたいという意向を持っていることがうかがえます。なお、「どちらともいえない」は 25.0%となっています。

図表Ⅷ-3 今後の定住意向（全体）



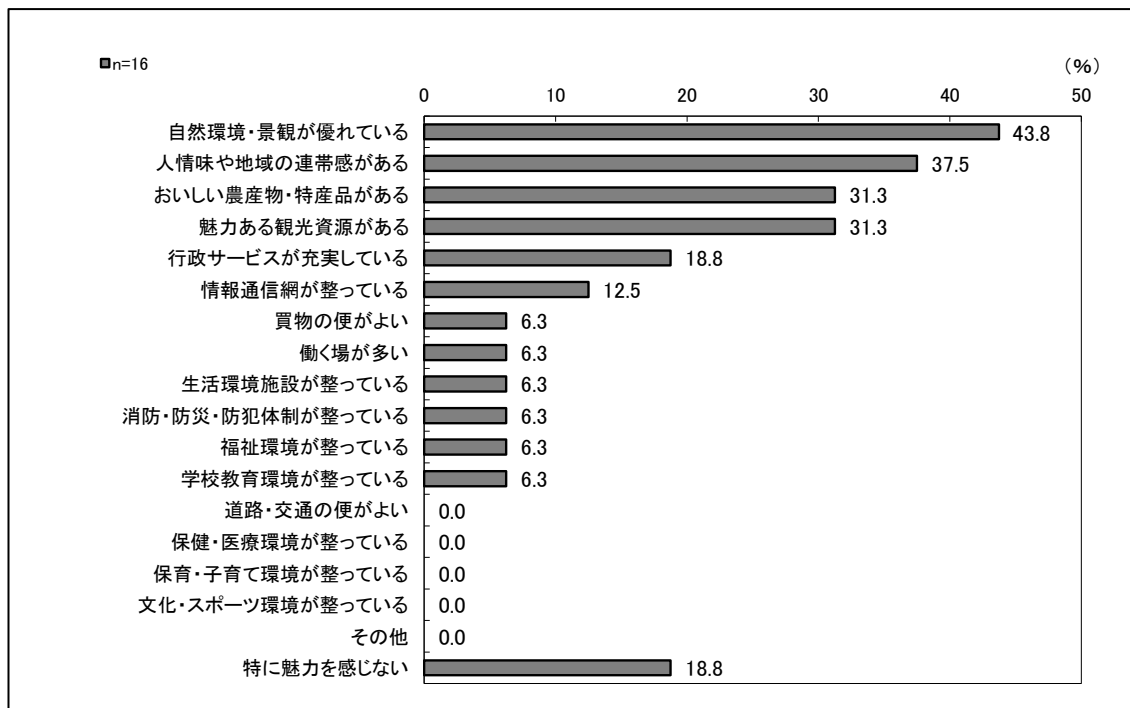
(4) 村の魅力

問5 あなたは、留寿都村の魅力はどのようなところだと思いますか。【複数回答】

- 「自然環境・景観が優れている」が第1位、次いで「人情味や地域の連帯感がある」、「おいしい農産物・特産品がある」、「魅力ある観光資源がある」の順。

村の魅力についてたずねたところ、「自然環境・景観が優れている」(43.8%)が第1位、次いで「人情味や地域の連帯感がある」(37.5%)が第2位、「おいしい農産物・特産品がある」と「魅力ある観光資源がある」がともに31.3%で同率第3位となっています。以下、「行政サービスが充実している」(18.8%)、「情報通信網が整っている」(12.5%)などの順となっています。

図表Ⅷ-4 村の魅力（全体／複数回答）



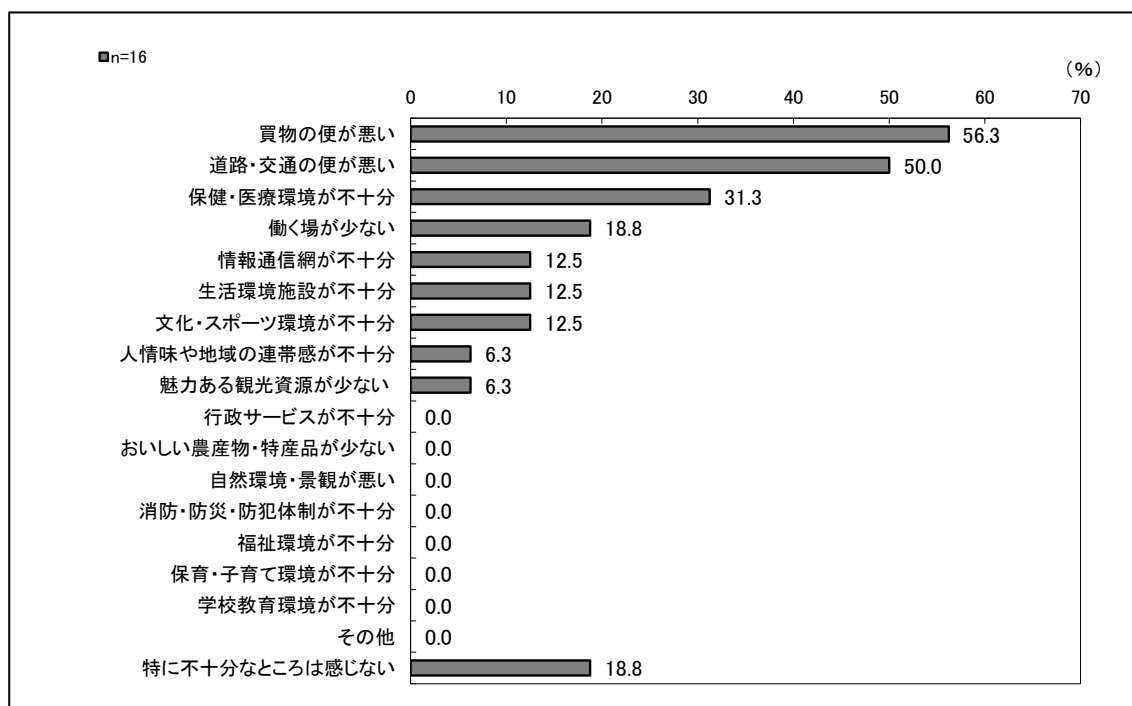
(5) 村の不足しているところ

問6 あなたは、留寿都村の不十分なところはどのようなところだと思いますか。【複数回答】

- 「買い物の便が悪い」と「道路・交通の便が悪い」が第1・2位を占める。次いで「保健・医療環境が不十分」、「働く場が少ない」の順。

村の不足しているところについてたずねたところ、「買い物の便が悪い」(56.3%)と「道路・交通の便が悪い」(50.0%)が第1・2位を占め、続いて「保健・医療環境が不十分」(31.3%)が第3位、「働く場が少ない」(18.8%)が第4位、「情報通信網が不十分」・「生活環境施設が不十分」・「文化・スポーツ環境が不十分」がいずれも12.5%同率第5位となっています。

図表Ⅷ-5 村の不足しているところ（全体／複数回答）



(6) 移住することになった主な理由や動機

問7 あなたが、留寿都村に「移住」することになった主な理由や動機などを教えて下さい。
【複数回答】



- 「就業のため」が第1位。次いで「ワーキングホリデーを利用し外国で働きたかった」と「留学・修学のため」が同率第2位。

村の不足しているところについてたずねたところ、「就業のため」(37.5%)が第1位、次いで「ワーキングホリデーを利用し外国で働きたかった」と「留学・修学のため」がともに18.8%で同率第2位となっています。

図表Ⅷ-6 移住することになった主な理由や動機 (全体/複数回答)

